

第3回 東旭川まちづくり推進協議会議事録

日 時： 令和8年2月25日（水） 午後6時00分から午後6時50分まで

場 所： 東旭川公民館 講堂

出席者： 磯石会長 西山副会長 池本委員 伊藤委員 踊場委員 勝瀬委員
佐藤（翔）委員 佐藤（昌）委員 椎名委員 曾根委員 中村委員
畑山委員 横尾委員

以上 まち協委員13名

オブザーバー： 社会福祉協議会 飛世氏 児童センター 高村氏

事務局： 羽田野支所長 河野主任 植松主任

その他： 防災課 村田補佐 村上主査

1 開 会

事務局から委員及びオブザーバー等を紹介し、出欠状況が報告された。

2 説明事項

防災課から「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」の作成について説明があった。

（意見交換）

- ・新しく来られた外国の方への対応は考えているのか。
→「まとまっぷ」は英語版も作成している。英語圏以外の方へは、ホームページで多言語に対応した防災アプリなどを紹介している。

3 会長挨拶

4 議 題

(1) 令和7年度事業実施報告と決算見込みについて

事務局から今後実施予定の取組（東旭川まち協だより、東旭川地域魅力発見マップ、「のり。タク」乗車体験会）について説明があった。また、地域まちづくり推進事業実施報告書及び収支報告書の案が提示された。

（意見交換）

- ・東旭川地域魅力発見マップについて修正箇所の指摘があった。

(2) 令和8年度事業計画（案）と予算（案）について

事務局から令和8年度の各部会事業（案）と予算（案）が示され、新規事業として、日の出倉沼地区における「防災訓練」が追加されたとの報告があった。

(意見交換)

- ・日の出倉沼地区の防災訓練は、同地区市民委員会と旭川市消防団第8分団で会議を行い、令和8年10月25日に実施する予定。
経費は1万円以下であるため、地域まちづくり推進事業補助金の予算は必要ない。今後、旭川市消防団や防災課などと打合せを進め、事業の実施状況等をまち協へ報告する。
- ・「出張児童館 in 東旭川」は、現在休止中であるとのことだが、今後の見込みはどのようなのか。
→児童センターとしては、現在、協力いただいている職員数が足りていないということもあり、月2回程度、東旭川支所2階で実施している「放課後マチデコ」を休止しているため、「月刊地域のチカラ」や「東旭川まち協だより」などでボランティアの呼び掛けを行っている。
来年度の6月くらいを目途に、児童センターの職員体制が整えば、「放課後マチデコ」を再開したいと考えている。また、年3回のイベントは今後も継続して進めていく。

(3) 東旭川まちづくり推進プログラムについて

事務局から令和7年度版の東旭川まちづくり推進プログラム案が提示され、令和7年度の実施状況等の反映部分について説明があった。

プログラムにおける要望事項等について、事務局から過去の要望と要望に対する回答が提示され、継続要望や新規要望などの意見がある場合は3月11日(水)までに事務局に連絡するよう依頼があった。また、継続要望の「水槽付消防車の配備」については、課題が解消される可能性があることから今回は要望しない意向であると事務局から説明があった。

(意見交換)

- ・プログラムの地域の課題、課題解決の取組・魅力づくりに「東旭川在住外国人との交流(異文化体験等)(全域)」との記載があるが、東旭川地域にも技能実習生などの外国人も増えてきている印象があり、重要な課題であると考えている。この課題解決に向けた取組案などはあるのか。
→これまでの東旭川まち協の中で課題として考えられてきたもので、現在、取組として具体的な案はないが、異文化交流等は重要な課題であるため、今後、まち協会議や実行委員会の部会などで検討を進めていきたいと考えている。
- ・プログラムに実施主体として様々な団体が記載されているが、そういった団体にもプログラムは配付しているのか。
→団体へのプログラムの配付は特段行っていないが、市のホームページで掲載しており、どなたでも見るできるようになっている。

(4) その他

- ・令和8年度まち協委員の募集について、2月16日(月)～3月16日(月)の期間で公募しており、募集チラシ及び応募用紙は、本庁や各支所、各公民館等でも配布していると事務局から説明があった。
- ・日の出倉沼地区の高齢者(75歳以上)に対する移動手段について、希望者が購入できるタクシー料金助成乗車証(シルバータクシーカード〔寿バスカードのタクシー型〕)の発行及び助成について、市議会に請願を提出し、採択されたとの報告があった。

5 閉 会